

# 第5回大山お地蔵さまフェスティバル開催



当会の継続事業である第5回大山お地蔵さまフェスティバルが5月17日(日)大山寺参道周辺にて開催された。本来であれば当会全会員及び一般参加者を募っての開催であるがコロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者を山口会長・恵比木専務理事・奥森副会

長及び継続準備委員会の参加希望者に限定して行った。

開会にあたって山口会長より「このような状況なので行える範囲内で開催されることになった。継続準備委員会においては委員会が立ち上がってから開催に向けて色々な事があったと思うが、全ての事があって今日という日にたどり着いた。本日の第5回大山お地蔵さまフェスティバルをしっかりと



とした時間にする事で次年度にしっかりと繋げて欲しい」と挨拶があった。

続いて石田実行委員長の趣旨説明では「従来は一般の方をお招きしての事業だがこの様な状況なので限られた会員で可能な事を継続事業として進めて行く。来年度以降も続

けていける事業を組み込んでいけるので本日参加したメンバーで清掃して第5回を完遂していきたい」と説明があった。

その後清掃場所である「弘化の大地蔵」に移動し、第1回から継続して行っているお地蔵さま清掃を参加者全員で行っ



た。清々しい青空の下で参加者それぞれの思いを込めてお地蔵さまを綺麗に磨きあげた。

清掃終了後に山口会長より「弘化の大地蔵」と彫られた石碑の寄贈を行った。大山のお地蔵さまには名前は付いているが経年劣化などにより認知

されなくなっているものが多くあるため、大山文化財の整備、地元への貢献へと繋げる事を目的としての寄贈である。

今回のお地蔵さまフェスティバルは縮小開催という事でお地蔵さま清掃と石碑の寄贈を行った後に閉会となったが、継続事業として次年度に繋がる事業になった。そしてこのお地蔵さまフェスティバルで開催される予定であったお地蔵さま作品展はコロナウイルス感染拡大以前に地域の保育園・幼稚園に作品の依頼をしていたものを今後データ化してインターネットのサーバー上で閲覧出来るように新たな試みを予定している。

大山のお地蔵さまを通して地域に貢献する事を目的としたこのフェスティバルを1年かけて準備した我々にとって、不安

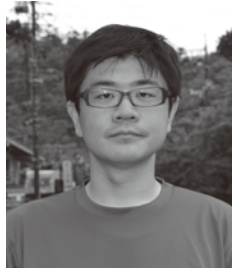


を多く抱えるこの度の情勢の中で地域の為に何が出来るかを深く考えるきっかけとなる1日となった。

(記事:渡邊)

## 第5回大山お地蔵さまフェスティバルを終えて

継続準備委員会 石田倫章委員長 (ウィルビィ株式会社 課長)



5月17日に、第5回大山お地蔵さまフェスティバルを無事開催する事ができました。非常に参加しづらい状況の中、ご参加頂いた会員の皆様にお礼申し上げます。

今年の2月半ばより新型コロナウイルス感染拡大の影響が国内で広がり始めた頃は全く状況の展望がなく、手探りの状態にありました。しかし、会員皆様のご協力の元、実行委員会を2度開催し、どのような状況になっても対応でき、可能な限り『継続事業』として開催させる事を目標に準備を進めて参りました。

縮小開催が決定してからも、実行委員会の皆様にはどのようなフェスティバルの開催方法が最も安全で状況に適しているか、刻々と変わる状況下において企画を検討し続けて頂きました。また、豪円湯院様や大山寺様にもギリギリまでご相談申し上げ、支援を頂きました。

結果として、第5回大山お地蔵さまフェスティバルは形こそ変わったものの、当初からの予定日にしっかりと開催する事ができました。継続事業として、来期に繋ぐ事が叶ったと思います。

この1日のために尽力して下さった皆様、本当にありがとうございました。

## 6月例会に向けて

広報委員会 渡邊公平委員長  
(有渡辺商店 主任)



6月例会は新型コロナウイルスの影響もあり通常開催と映像配信案の2案を検討し進めてまいりました。緊急事態宣言も解除され、鳥取県内の感染者数の推移を鑑み感染予防対策をしっかり行いながら、通常開催を軸に準備をしております。

当例会では第45期のスローガン「考動」のもとで、各委員会が、1年間どの様に考え行動を起こし、形にしてきたかを委員会報告として5名の委員長に発表して頂きます。続いて第46期高塚会長に次年度の活動方針を発表して頂き、第46期の活動も実りある1年にするために全会員で方針を共有する場といたします。

会員の皆さまも未知のウイルスへの対応で苦慮されているかと思いますが、それを乗り越える事が今期のテーマである「僕らの前に道はない 僕らの後ろに道はできる」に通じるものだと思います。そして第45期を締めくくり第46期にバトンを繋ぐ大切な例会になりますので、是非ともご参加をお願いします。また諸般の事情で参加出来ない会員方の為にも映像配信を行いますのでご視聴をお願いいたします。

この様な状況だからこそ会員一丸となるような6月例会にしたいと思っておりますので皆様よろしくをお願いいたします。  
※今後の状況によって例会の開催手法映像配信のみに変更する可能性もあります。



## 会員のおうち時間

会員の皆さんも新型コロナウイルスの影響で自宅で過ごす時間が増えてきていると思います。そこで皆さんが「おうち時間」をどのように過ごしているかご紹介いたします。



### 明穂 真一(境港海上無線株式会社・専務取締役)

家での時間の過ごし方ということで、パスタを娘と作った事を、SNS 風にお届けしようと思います。

日曜の晴れた朝、庭で読書がしたいと娘。いいねいいねと父。ハンモックでも作ろうか。古いカーテン、ロープを軒下に吊るして、簡単ハンモック完成。なかなかいいねと娘。水戸納豆みただねと父。昼食は納豆パスタにしよう。

#ハンモック既製品がいいね #地面に戻っているね #ひきわりだよ



### 小原 武史(弁護士法人アザレア法律事務所・弁護士)

皆様こんにちは。令和2年2月入会の小原と申します。今日は、私のステイホームの方法について一部ご紹介させていただきます。

私は、小学校1年生から高校3年生までピアノを習っていましたので、久しぶりに昔習っていた練習曲を弾いています。12年も習っていましたが上手に弾けませぬし、ブランクが長いことも加わり、両手が思うように動かずもどかしく感じていますが、同時に楽しんだり、当時は懐かしんだりしています。



### 川口 慎司(株式会社葬仙)

私の趣味は、よく休日にドライブに行くことでしたが、最近は、タブレット端末を使って動画配信サイトで映画を観て過ごしております。インターネット環境さえあれば、どこでも手軽に見られる事は魅力ですね。気づくと1日が終わっております(笑)

先日、ミッションインポッシブルシリーズを一気見しました。このシリーズ、トム・クルーズは、アクションをスタントマンなしで本人が演じており面白いです。今度新作もやるようで楽しみです。  
新しい趣味を見つけることが出来ましたが、今は一刻も早く今までの日常生活がおくれる事を祈っております。

## タイムスリップ。米子市 No.2

この写真は、四条通り交差点、現在の皆生温泉観光センター付近を撮影した写真です。この地点の道は、昭和初期より米子市内と通じており、当時写真の奥に路面電車「米子電車軌道」(昭和13年まで)の停車場や、現在の海浜公園付近には、山陰初の競馬場(最後の開催は昭和22~23年)がありました。戦後の区画整理事業に

より競馬場跡地を含む地域が整理され、海浜公園付近などを含め、皆生温泉が西側に350m広がりました。

皆生温泉は、海岸浸食が原因で、たびたび建物の流出や流木の衝突による泉源の倒壊などの自然災害に見舞われながらも克服し、昭和40年代(1965年~)に入ると国鉄による団体輸送の時代と中国道の開通により急成

長していきました。当会が関わる行事である「皆生トリアスロン大会」は、皆生温泉60周年記念行事として、1981年に第1回大会が始まりました。第1回大会は、参加者53名から始まり、現在では1000人の参加者を超す日本を代表する大会となりました。残念ながら2020年大会は中止となりましたが、2021年に開催される予定の第40回の記念大会は、41年前トリアスロン大会の誘致を決めた先人たちの情熱を汲み、これまで最も盛り上がる大会になるよう祈っています。

(記事:川原)



1968年



1983年



2008年

参考資料 「皆生今昔」著 皆生温泉町づくり推進協議会 / 「海に湯が湧く1世紀」皆生温泉開湯100年記念事業実行委員会 / 掲載写真(鳥取県立博物館所蔵資料)



# 新入会員が見たお地蔵さまフェスティバル



**景山 慎也**  
(サンクグリーン株式会社・  
取締役部長)

新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、第5回お地蔵さまフェスティバルがこのような縮小開催になってしまった事を本当に残念に思います。

当日は晴天に恵まれ、山口会長をはじめ、会員のお子様を含めた19人での清掃を行いました。参道には人もまばらで、新緑の大山を楽しむことすら奪ってしまうコロナを恨みましたが、参加された全員で弘化のお地蔵さまをキレイにして差し上げ、記念の石盤を山口会長が設置されました。

初めての参加でしたが、多くの賑わいや子供の声を聴くことが出来ず非常に残念ではありますが、来年こそは健康で完全なフェスティバルの開催を切に願います。



**依 陽介**  
(株式会社石田コーポレーション・  
課長)

今年2月より中央会に入会し継続準備委員会に配属させていただきました。

この事業は未来を担う子供たちがこの地域への理解と愛着を深め、またお地蔵さまの清掃を通して他人への感謝の気持ちを養い、さらにフェスティバルを楽しめるよう様々なイベントも企画されており、素晴らしい事業だと感じました。

今年度はコロナウィルスの影響により縮小開催となり、お地蔵さまの清掃と石碑の寄贈のみとなりました。今まで委員会の皆様が企画し準備を進めていただけにとっても残念ですが、縮小開催という形で事業を継続することが出来ました。

実際にお地蔵さまの清掃を行い、たわしで磨き、水で流すと汚れが落ちてるのが目で見てはっきりと分かり、心がすがすがしい気持ちになりました。石碑はお洒落な形で、設置すると周りの雰囲気にも溶け込んでおり非常に良かったと思います。

今年度は少ない経験となりましたが、準備など例年とは違った対応となり、これからの中央会の活動に活かして参りたいと思います。



**渡部 直哉**  
(中浦食品株式会社・  
店舗統括マネージャー)

継続準備委員会の渡部です。第5回大山お地蔵さまフェスティバルに参加致しました。内容につきましては、今回は縮小開催ということもあり、本来のフェスティバルの雰囲気や様子がわからず残念だったというところが正直なところですが…。しかし、縮小開催だった為に学べたこともあります。“継続事業の1つとして実施して続けていく”という熱い思いです。縮小開催の連絡があった時、残念に思ってしまったと同時に「続いてきている中央会の活動をゼロにせず、僕がでも活動し続けて次年度へ繋げたい」という山口会長の思いに感銘を受けました。10年、20年と続く継続事業の1つにしていけないといけないうと新入会員ながら強く思いました。また、開催に向けて各部に分かれて段取り良く準備されていた先輩方の姿勢も見習いたいです。一生懸命な思いが伝わり、協力したい、成功させたいと私も思うようになっていました。そう思えたのも委員会の皆様のおかげです。ありがとうございます。

今回学んだことを今後の活動に活かし、今後のフェスティバル開催、継続事業に積極的に携われるよう日々精進していきます！

## コロナに負けるな!!鳥取県の緊急支援策

新型コロナウイルス感染症の影響で当会会員の所属企業も外出制限や売上げ減少など、多大な影響を受けています。以前に比べると落ち着いてきているとはいえ、まだまだ予断を許さない状況です。

そこで、鳥取県では全庁をあげて新型コロナウイルス感染拡大の防止策を強化するとともに、県民生活・県民経済の安定を確保するための取組みを進めております。その中から一部抜粋して中小企業や個人事業者を支援する補助金についてご紹介します。

### 中小企業、飲食宿泊業等の緊急支援

#### ●中小企業の緊急支援 緊急応援補助金(経営危機克服型)

【補助金上限】 50万円(補助率3/4)

【補助対象者】 県内中小企業者等

※新型コロナウイルスの感染拡大により売上高が減少している事業者が対象

【補助対象経費】 FS 調査費、新商品開発費、人材育成費、販路開拓費、設備導入費、固定費(固定費については補助対象経費の1/2が上限)など

【相談窓口】 頑張ろう鳥取県緊急支援センター(企業支援課内)

TEL:0857-26-7988

※詳しくは相談窓口にお問い合わせください

#### ●飲食・宿泊業等の緊急支援 頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業

【補助金上限】 10万円(補助率10/10)

※1事業者1回、複数店舗経営の場合は上限20万

【補助対象者】 県内の飲食、宿泊、観光事業者等

※県内に本社を置く事業者(個人事業者含む)

【補助対象経費】 パッケージ作成費、PR資料作成費、広告費、移動販売に要する経費、商品開発費、従業員研修費など

【相談窓口】 頑張ろう鳥取県緊急支援センター(食のみやこ推進課内)

TEL:0857-26-7985、7986

※詳しくは相談窓口にお問い合わせください

他にも国の経済対策「持続化給付金」などが速やかに給付を受けられるようサポートもしております。ご紹介した支援はほんの一部に過ぎず、企業・事業者のみでなく個人にも様々な支援をしております。インターネットから「鳥取県 支援策」と検索したら鳥取県のホームページから閲覧できますので、お困りの方はぜひ活用してください。

未曾有の危機の中でも、我々はこの苦難を乗り越えなければなりません。その為に必要なのは思いやり助け合う心、そしてピンチをチャンスに変えられるような強い心ではないでしょうか。負けるな山陰経済!!

(記事:下村)

# myグッジョブ!!

## 山根 壮

(株)ヤマネ産機・課長



当社は昭和39年1月の創業以来、一貫して機械工具と産業機器の専門商社です。機械工具と聞いてピンとこない方も多いのではないのでしょうか。しかし私たちの扱っている商品は皆さんの生活で、普段目にするものに深く関わっています。身近な例としては自動車、航空機、スマートフォンなどがあります。機械工具はそれら製品を作る為に使われる道具の事です。

私たちはそのような「モノづくり」に必要な不可欠な機械や工具を販売して、よりよい商品を世の中に送り出すお手伝いをしています。日本国内でモノをつくる製造業は、とても重要な位置にあります。私たちが時代のニーズにお応えし、産業の基礎資材を

円滑に供給することによって、製造業の更なる発展を支えています。

急激な社会状況の変化において、新時代の情報を的確に把握し、ユーザーに課せられた高度な技術開発や、生産能力向上のサポートをして、これからも「誠意」「創造」「挑戦」を軸に企業の社会的貢献を果たせるよう邁進して参ります。

# myグッジョブ!!

## 高岩 雄一

(有)いけまつ環境・代表取締役



シェアキッチンヒトバ神戸岡本店。昨年12月に弊社(有)いけまつ環境の起こした新ビジネスである。

自ら飲食店を切り盛りするのではなく、様々なシェア店主が顔を並べる飲食店をコーディネートすることを業とするのだ。現代、次々に“シェア”という考え方が広がり浸透してきている。車、美容室、ワーキングスペースその他、考えをたどると、これまで当たり前のもも実は“シェア”で成り立っていたのかもしれないと考えさせられる。やはり、街を作るのは、“人”と“場所”。そのコンセプトから“ヒトバ”という名前シェアキッチンをはじめた。毎週〇曜日の店主さん。1つの店舗をシェアするのだが、それぞれにジャンルも雰囲気も

違う。それでもお客様からすれば1つのお店なのだ。個性が輝き、その夢のエネルギーを盛り立て、応援すること。これが生業となり、次なる事業者のチャンスを生む。企業としても社会貢献出来ていくのだ。

さらには、私たちが予想できないスタイル、アイデンティティが突然やってくるという財産に無限のスパイスを得たように思え、今後も自社の湧き出る泉が見逃せないのだ。

### 大山まめ知識～番外編～

5月に開催された大山お地藏さまフェスティバル。小さい頃から意外と身近な存在で特に意識していませんでしたが、そもそもお地藏様って何でしょう？

お地藏様は仏教の信仰対象である菩薩のひとつで、「大地があらゆる命を育む力を蔵するように人々の苦悩を無限の大慈悲の心で包み救う」がゆえにその名がついたと言われています。また六道輪廻(簡単に言うと人は死後生まれ変わるために6種類の地獄のどれかに行かなければならないという考え)の苦難からお地藏様自らが歩き、弱者を救済するとされ平安～鎌倉時代に地藏信仰として人々の間に広まりました。(日本昔話「笠地蔵」のようにお地藏様が6体で並んでいることが多いのもこのような信仰によるとされる)お地藏さまのご利益は、現世利益が強調され特に庶民に親しまれる仏となり、村の出入口で災いが入るのを防ぎ、また旅人の安全を守ったとされます。そして賽の河原に足を運んでは鬼から子供たちを守り、徳を与えて成仏への道を開いていくという逸話にあるように、特に子供の守り神としても信じられ、子供が元気に育つようにと魔よけの意味もある赤色のよだれかけや頭巾を奉納するそうです。

大山においては、このようなお地藏様信仰と大山の水の恵みに延命や繁栄を求める信仰が結びつき大山独特の信仰となりました。さらにその信仰と当時の牛馬市が結びつき「信仰と結びついた全国唯一の牛馬市」が誕生したのでした。(記事:福山)

### 役職変更のお知らせ

山内 正樹会員  
(旧)有限会社サンユービルド 専務取締役  
(新)有限会社サンユービルド 代表取締役  
お手数ですが手帳の修正をお願いします。

### 6月役員会報告

令和2年6月1日(月) 米子市公会堂 集会室6・7にて6月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・6月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。



### 考読 ～おすすめ書籍の紹介～

仲佐 大志(ライフメンテナンス・代表)

この度私が紹介したい書籍は、稲盛和夫さんが著者の『考え方～人生・仕事の結果が変わる～』です。既に読んでおられる方も多いかと思いますが、表題の通り仕事の成功や人生を豊かにするための考え方が記されています。冒頭には人生の方程式として「人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力」と書かれています。熱意と能力は0から100点に対して、考え方は-100から100点までの振り幅があり、人生を最も大きく左右するものだとされています。気になった方は手に取っていただけると幸いです。



冒頭には人生の方程式として「人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力」と書かれています。熱意と能力は0から100点に対して、考え方は-100から100点までの振り幅があり、人生を最も大きく左右するものだとされています。気になった方は手に取っていただけると幸いです。

### 編集後記

編集現在5月下旬。鳥取県でも緊急事態宣言が解除され緩やかに社会が動きつつあります。この期間で鳥取県民の“危機感”の強さを感じました。結果、感染者を増やす事無く今に至り、少し光が見えてきました。あと少し!!コロナにまけるな!!

(広報委員会 金子)